

# 第1学年 音楽科 学習指導案

日 時 平成29年6月12日(月)

場 所 北舎4階 第二音楽室

1. 題材名 イメージと音楽とのかかわり  
教材名 映画「ジョーズ」から“ジョーズのテーマ”  
「四季」より『春』第1楽章

## 2. 題材について

本題材は、学習指導要領「第1学年B鑑賞(1)ーア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想との関わりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと」と、「第1学年B鑑賞(1)ーイ 音楽の特徴をその背景となる文化・歴史やその芸術と関連付けて、鑑賞すること」に関する内容である。

「春」は、急-穏-急の3楽章構成による協奏曲である。A. ヴィヴァルディの協奏曲の大きな特徴は、独奏と合奏が交互に出てくるリトルソネット形式で作られていることである。「春」はソネットがあるため、音楽から情景をイメージするおもしろさを感じることができる。

## 3. 指導観

中学校に入って初めての鑑賞の学習なので、リズム、旋律、強弱、音色、形式、構成など、音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚させ、ソネットとの関わり合いを意識して、楽曲の部分や全体を聴かせ、要素の働きが生み出す雰囲気を感じさせる。そして、自己のイメージや思いを他者に伝え合ったり、他者がどのようなことを意図しているかを考えて共感したりするためには、要素を活用し、言葉で伝えることが有効であることに気付かせる。音楽を形づくっている要素を活用できる大切さを実感できるように配慮し、生徒が意欲的に楽曲のよさや美しさを味わい、言葉で自分の思いや意図を表現する力をつけたい。

## 4. 生徒の実態

新しい曲を扱う時には、聴いた音楽に対してどんな特徴があるか、どんな感じがしたかなどの自分の考えをもち、交流する場を設けてきた。回数を重ねるごとに、自分の感じたことを言葉で表現することができるようになってきたが、個人差が大きく、自信がなかったり言葉に表せなかったりして「分からない」という意識をもっている生徒が多い。また、音楽の要素を根拠に話せる生徒はまだ少ない。

音楽表現においては内向的な生徒が多く、全体合唱では少し声が出るようになったが、個人やグループになると表現力に弱さが見られる。

本題材では、音楽の聴き方や音楽と情景の関わりを理解させ、音楽を形づくっている要素やそれらの働きによる曲想との関わりを言葉で説明できるようにさせたい。

## 5. 研究内容と本時との関連

研究テーマ：楽しさと確かさの中に美しさを求める音楽教育

研究内容② 豊かな表現を求め、主体的・対話的で深い学びとなる学習活動の工夫

●児童生徒が憧れや見通し、多様な考えが生まれる音楽活動の工夫

導入で、作曲者の出身地やヴィヴァルディにとっての「春」とはどのようなものかを問い、ヴィヴァルディは「春」の何に感動しているのかをつかませ、「春」のイメージを膨らませる。

研究内容③ 追求の深まりを実感するための学習過程における評価の工夫

●深まりを実感し次につなげる自己評価の工夫

終末で、キーワードを用いて「春」のよさを文章でまとめる。仲間との練り合いで学んだことから、キーワードを使って書いているか自己評価をし、深まりを実感できるようにする。

## 6. 題材目標

音楽からイメージする情景や気分を感じ取り、その背景にあるものが「強弱」や「速度」、「旋律」などの音楽の要素にかかわっていることをつかみ、作曲者の工夫を考えることができる。

## 7. 題材指導計画

教材	時数	主な学習内容・評価基準と評価方法
「ジョーズのテーマ」	1	<p>①題材の学習内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景とは、心にある感じを起こさせる光景や場面のこと。</li> <li>・情景と音楽を結び付けて聴くために、「〇〇な感じがする。それは、(音楽の)～から感じられる。」という聴き方ができるようにしていく。</li> </ul> <p>②「ジョーズのテーマ」を聴いて、どのような場面が思い浮かんだかをプリントに記入し、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「ジョーズ」恐ろしさを表現するために、どんな工夫がされているか探ろう。</p> </div> <p style="text-align: right;">(関心、意欲、態度) ワークシート、発言内容</p> <p>③着目する音楽を形づくっている要素について理解し、それに基づいて「ジョーズのテーマ」から聴き取り、文章でまとめる。</p> <p>④「ターミネーター」「ハリーポッター」を同様に鑑賞する。</p> <p style="text-align: right;">【音色・リズム・強弱・旋律・速度】</p>
「春―第一楽章―」	2	<p>①作曲者ヴィヴァルディについて知り、題名「春」について考える。</p> <p>②「春」を全曲鑑賞し、感想を交流する。</p> <p>③ソネットについて教科書やプリントを用いて理解する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「春」の情景を表すために、どんな工夫がされているか聴き取り、この曲のよさをまとめよう。</p> </div> <p>④BとDのソネットの音楽を聴いて、ソネットの雰囲気を感じる背景にあるものを考える。</p> <p>⑤音楽の要素を意識しながらソネットの内容を思い浮かべて全曲を鑑賞し、「春」のよさを文章にまとめる。</p> <p style="text-align: right;">(技能) 演奏聴取, ワークシート</p> <p style="text-align: right;">【音色・リズム・強弱・旋律・速度】</p>
「浜辺の歌」	3	<p>①歌詞を読み、書かれている情景を読み取る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>浜辺の情景を思い浮かべながら、拍の流れにのって歌えるようにしよう。</p> </div> <p style="text-align: right;">(技能) 演奏聴取, ワークシート</p> <p>②「浜辺の歌」の範唱を聴き、8分の6拍子の拍の流れや旋律の特徴を感じ取る。</p> <p>③「浜辺の歌」を繰り返し練習し、歌えるようにする。</p> <p>④2拍子の指揮をふりながた、「浜辺の歌」を歌い、8分の6拍子の拍の流れを感じ取れるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【リズム, 旋律】</p>

「浜辺の歌」	4	<p>①「浜辺の歌」が二部形式になっていることを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 各フレーズの歌い方を工夫して、浜辺の情景を表現しよう。 </div> <p style="text-align: right;">(創意工夫) ワークシート, 演奏聴取</p> <p>②「浜辺の歌」の範唱を聴いて、強弱の変化を感じ取る。</p> <p>③強弱表現を工夫することが浜辺の情景の表現にどのように生きているかを考えながら歌う。</p> <p>④どのように強弱の変化をつけることで、浜辺のどんな情景を表現することができたかを振り返る。</p> <p style="text-align: right;">【リズム, 旋律, 強弱, 形式・構成】</p>
--------	---	--

## 8. 本時のねらい

BとDの旋律を情景や気分を想像しながら聴くことを通して、それらの曲想を形づくっている背景には音楽の要素が関わっていることに気付き、文章で表現するなどして、音楽のよさを味わうことができる。

【共通事項】 強弱・旋律・リズム

## 9. 本時の展開

	学習のねらい	主な学習活動	指導・援助
つかむ	「春」や作曲者について理解する。 「春」全体を聴き、曲の感じをつかむ。	①作曲者ヴィヴァルディについてや弦楽合奏について知り、題名「春」について考える。 ②「春」全曲を鑑賞し、感じたことを交流する。 ・春がきてうれしいという感じが伝わってきた。 ・鳥の声みたいに聞こえる部分があった。 ・天気良く、明るい感じだったが、途中で天気が悪くなるような感じのところがあった。 ③ソネットについて理解する。 ・自分たちが感じたことと同じようなことを、ヴィヴァルディも感じて、「ソネット」というものを作っていたんだ。 ・自分が書いた感想とソネットが似ていた。	・教科書の写真などを用いて端的に説明する。 ・音楽から感じたことを言葉に表すことが難しい生徒に、「ヒントカード」を見せ、感じ取ったことを言葉で表現できるようにする。 ・教科書を用いてソネットについて端的に説明する。
練り合う	鑑賞に必要なポイント「音楽の要素」を思い出す。	④課題をつかむ。 「春」の情景を表すために、どんな工夫がされているかを聴き取りこの曲のよさをまとめよう。 ⑤前時の学習を振り返る。 ・5つの音楽を形づくっている要素に注目しながら聴くことで、それらと曲想との関わりを感じとることができる。 ・「音楽の要素」に注目すると、その曲の曲想を伝えるためにどんな工夫をしているかが分かる。	・音楽を形作っている要素の言葉のカードを掲示し、前時の学習を振り返りやすいようにする。
	対照的な雰囲気[B]と[D]のソネットを用いて課題を追究する。	⑥[B]のソネットの音楽を聴いて、感じたことや聴き取ったことを書き、「音楽の要素」と関わらせながら意見を発表する。 ・とても高い音で演奏されているところから、春が来て嬉しい気持ちを想像しました。 ・鳥の鳴き声のように聞こえたのは、音が高いからだと思います。 ・明るい感じがしたのは、弾むようなリズムからです。 ⑦[D]のソネットの音楽を聴いて、感じたことや聴き取ったことを書き、「音楽の要素」と関わらせながら意見を発表する。 ・暗い音で演奏されているので、怖い感じがしました。 ・低い音で細かいリズムのところは、雷鳴のように聞こえました。低く、ゴロゴロという感じの音がしました。 ・高い細かいリズムのところは、さっきまでいた鳥が騒いでいるように感じました。	・音楽から感じたことを言葉に表すことが難しい生徒に、「ヒントカード」を見せ、感じ取ったことを言葉で表現できるようにする。  <評価規準> ソネットの雰囲気を味わい、その背景にあるものを音楽の要素と関わらせて感じ取り、文章で表現することができている。 (鑑賞) <発表内容・プリント>
まとめる	本時の課題を意識して通して全曲を鑑賞する。	⑧音楽の要素を意識しながらソネットの内容を思い浮かべて全曲を鑑賞する。 ⑨「春」のよさを文章でまとめる。 「春」は、全体的に弾んだ感じのリズムが多く使われているから、明るい音楽だった。Bでは、ヴァイオリンが高い音で小鳥の声のような旋律を弾いていて、春の穏やかな情景を表している。またDでは、雷を細かい音や低い音で不安定な様子を表している。同じ「春」という曲でも、「強弱」や「音の高低」「リズム」を工夫するだけで、曲想が違って聴こえておもしろい。	・ソネットを手がかりに鑑賞するように伝える。 ・「春」のよさを音楽の要素と関わらせてまとめるように伝える。